

令和4年度 地球温暖化対策の取組実績

団体名	事業の名称	実施月日	新規継続区分	実施場所	事業概要
1	味の素株式会社	温室効果ガスの削減	通年 □ 新規 ■ 継続（平成 年より）	工場エリア	・ボイラのエネルギー高効率設備を令和3年度に導入し、令和4年度より本格運転を開始し、確実にCO2削減に貢献した。 ・LEDの照明器具の導入を進め、消費電力の低減に貢献した。 ・エアコンなど、空調・冷凍冷蔵機器について、ノンフロン、代替フロンなどの地球温暖化係数のより低い機器への更新を進めた。
		技術開発支援・事業支援	通年 □ 新規 ■ 継続（平成 年より）	研究所エリア	・「少ない資源でより豊かな価値を提供する技術」「海外工場への技術支援による環境負荷低減」を目標として設定し、技術開発（基礎研究含む）などを通じて環境への貢献を継続的に具現化する開発（研究）を推進した。
2	川崎信用金庫	クールビズ・ウォームビズの実施	クールビズ 5/1～10/31 ウォームビズ 12/1～3/31 □ 新規 ■ 継続（平成20年より）	本店・営業店	冷房設定温度を上げ、職員はノーネクタイ等定められた範囲内での軽装で執務しました。 暖房設定温度を下げ、職員はインナーウェアやセーター、ベスト等を着用し体感温度を上げる工夫をしました。
		カーボンゼロの取組みを支援する預金商品の取扱い	通年 □ 新規 ■ 継続（令和3年より）	営業店	脱炭素への取組みや環境配慮に向けた意識の醸成を意図した定期預金商品を取り扱いました。年度末の契約実績に応じた金額を緑化基金に寄附しています。
		カーボンゼロの取組みを支援する融資商品の取扱い	通年 □ 新規 ■ 継続（令和3年より）	営業店	環境配慮に取り組んでいる企業を対象とした融資商品・環境にやさしい自動車の購入や住宅の購入・建築などにご利用いただける個人向け融資商品を取り扱いました。
		カーボンゼロの取組みへの周知・啓発を目的とした広告物の作成	通年 □ 新規 ■ 継続（令和3年より）	営業店	カーボンゼロについて説明するスタンドポップや動画、パンフレットを用いて、お客さまがカーボンゼロについて興味を持っていただくきっかけとしました。
		太陽光発電システム導入	2月 □ 新規 ■ 継続（令和3年10月より）	当金庫大島支店・稲田堤支店	大島支店・稲田堤支店の屋上に太陽光パネルを設置。自家消費することで再エネルギーの向上を目指しました。
		災害用備蓄品寄贈による食品ロスの低減	10月27日 □ 新規 ■ 継続（令和3年3月より）	営業店用備蓄品	賞味期限が残り1～2年程度のレトルト食品を川崎市のフードバンクへ寄贈。寄贈品は、社会福祉協議会などを通じて必要とされる方々に随時配布されました。
		環境負荷低減への取組み	通年 □ 新規 ■ 継続（令和2年9月より）	本部・営業店	封筒類・各種用紙類を環境配慮型の用紙に切替えました。
		プラごみ削減への取組み	通年 □ 新規 ■ 継続（令和3年1月より）	本部・営業店	役職員のプラごみ削減への意識を高めるため、ごみの分別回収ボックスを全店舗に設置し、プラごみの分別に取り組みました。
		オフィス照明LED化	通年 □ 新規 ■ 継続（令和3年9月より）	営業店13店舗	オフィス照明のLED化を進めました。
		省エネルギー設備投資に係る各種利子補給金の普及促進及び申請支援	通年 □ 新規 ■ 継続（令和3年より）	営業店	経済産業省による「省エネルギー設備投資利子補給金」、環境省による「地域脱炭素融資促進利子補給事業の利子補給金」の指定金融機関となり、CO2削減に資する設備の導入支援を実施しました。
		省エネルギー診断および再生可能エネルギー電力導入支援	通年 □ 新規 ■ 継続（令和3年より）	営業店	行政等の外部支援機関と連携して、省エネルギー診断や太陽光パネル設置による再生可能エネルギー電力の導入提案を行いました。
		再生可能エネルギー由来の電力プランへの切替え	4月 □ 新規 ■ 継続（令和3年より）	本店	令和4年度は本店で使用する電力を再生エネルギー由来のプランに切り替え、大幅にCO2排出量を削減しました。
3	JFEスチール株式会社	製造プロセスにおける先進技術の導入による省エネルギーの推進	令和4年度 □ 新規 ■ 継続（平成 年より）	東日本製鉄所（京浜地区）	生産動向・電力需給見直しを見極め、有効な取組みを実施
		節電対策の推進	令和4年度 □ 新規 ■ 継続（平成 年より）	東日本製鉄所（京浜地区）	継続的に有効な節電対策を実施 ・クールビズ期間の拡大 ・廊下の消灯 ・空調温度の適正化 ・昼休みの消灯・OA機器停止

令和4年度 地球温暖化対策の取組実績

団体名	事業の名称	実施月日	新規継続区分	実施場所	事業概要	
4	FEプラリソース株式会社	容器包装プラスチックのリサイクル	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成12年より）	全社	容器包装リサイクル制度に則り、各自治体から容器包装プラスチックを受け取り、高炉還元剤、コークス炉化学原料、材料リサイクルを行い、再資源化した。材料リサイクル製品の「NFボード®」は、低CO2川崎ブランドに選定されると共に、川崎メカニズム認証も取得している。
		リサイクルプロセスの効率化による省エネルギーの推進	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成12年より）	全社	容器包装プラスチック処理プロセスの効率化により、電気、Cガス、蒸気、化石燃料、用水の削減を図り、省エネルギーを推進している。
		クールビズウォームビズの実施	クールビズ(5月～10月) ウォームビズ(12月～3月)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成21年より）	全社	クールビズでは空調の室温を原則28度、ウォームビズでは20度以下とすることを継続し、節電に努めている。
		事務所節電の実施	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成21年より）	事務所	昼休みの全消灯、必要時以外の消灯により事務所の節電に努めている。
		工場見学を受け入れ	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成12年より）	全社	見学者を受け入れ、当社の事業内容を紹介すると共に、容器包装プラスチックリサイクルについて理解頂き、資源循環、環境保全の大切さを啓発している。
		グリーン電力証書	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成27年より）	全社	グリーン電力証書を購入し、CO2削減に貢献する。バイオマス発電による電力20,000kwhを購入した。
		工場照明のLED化	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成29年より）	工場	工場内照明、工場周りの照明のLED化により、電力削減を図っている。
5	スナイプバレー合同会社	「第1回かわさきSDGsランド」での古新聞紙を使ったバッグ作りワークショップ	6月18日	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続（平成 年より）	等々力公園	主に親子連れを対象に、読み終わった新聞紙を使ったバッグ作りのワークショップを実施し、ビニール袋などのプラスチックごみを減らすことの重要性を啓蒙した。
		JALカード会員を対象としたセミナー「海の中で今起っていること～知っておきたい海の環境の話～」	9月7日	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続（平成 年より）	THE EXECUTIVE CENTRE 神宮前	「海の中で今起っていること～知っておきたい海の環境の話～」をテーマに、JALカード会員を対象にセミナーを実施し、温暖化による海への影響や、私たちが日常でできる対策などを伝えた。
		「GOOD OPEN AIRS 2022 in Higashi-Ogishima」での古新聞紙を使ったバッグ作りワークショップ	10月30日	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続（平成 年より）	東扇島東公園	主に親子連れを対象に、読み終わった新聞紙を使ったバッグ作りのワークショップを実施し、ビニール袋などのプラスチックごみを減らすことの重要性を啓蒙した。また、人工海浜でのマイクロプラスチック採取も実施した。
		「脱炭素アクションみそのくち広場」での古新聞紙を使ったバッグ作りワークショップ	11月12日	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続（平成 年より）	JR武蔵溝ノ口駅	主に親子連れを対象に、読み終わった新聞紙を使ったバッグ作りのワークショップを実施し、ビニール袋などのプラスチックごみを減らすことの重要性を啓蒙した。
		第2回ごみゼロカフェ「海の中で今起っていること～知っておきたい海の環境の話～」セミナー	12月10日	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続（平成 年より）	中原市民館 実習室	「海の中で今起っていること～知っておきたい海の環境の話～」をテーマに、今海の中で起っているプラスチックごみの問題と、私たちが日常でできる対策などを伝えた。
		平間小学校「平間SDGsフェス」での出前授業	1月21日	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続（平成 年より）	平間小学校	平間小学校の5年生1クラスを対象に、海の環境に今何が起っているのかを講義。後半は読み終わった新聞紙を使ったバッグ作りのワークショップを実施し、ビニール袋などのプラスチックごみを減らすことの重要性を啓蒙した。
		川崎市廃棄物減量指導員連絡協議会で、海の環境についての講演	2月22日	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続（平成 年より）	武蔵小杉	川崎市廃棄物減量指導員連絡協議会の理事の皆さんに、温暖化による海への影響や、プラスチックごみの問題、私たちが日常でできる対策などを伝えた。
高津区廃棄物減量指導員連絡協議会で、海の環境についての講演	2月27日	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続（平成 年より）	川崎市環境局宮前生活環境事業所	高津区廃棄物減量指導員の皆さんに、今海の中で起っているプラスチックごみの問題と、私たちが日常でできる対策などを伝えた。		

令和4年度 地球温暖化対策の取組実績

団体名	事業の名称	実施月日	新規継続区分	実施場所	事業概要
6 東京ガスネットワーク株式会社	環境イベントへの出展	①6/4,5 ②7/28 ③11/22 ④9/10	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (①令和4年より) (②令和4年より) (③平成27年より) (④平成24年より)	①IJシティかわさきフェス ②CCかわさき「子ども環境ワークショップ」 ③かわさき企業市民交流Day@川崎区【11/23】 ④幸区「科学とあそび幸せな一日」【HPへコンテンツ提供】	①…脱炭素アクションみそのくちPJ創出部会の活動紹介に参画。 ②…「燃料電池とメタネーション」の出張講座 ③…パネルを使い環境への取組を市民に訴求した。 ④…当社HPの「おどろき！なるほど！ガスワールド」（子ども向けコンテンツ）にリンクしてもらったりリモート対応。
	地球温暖化防止啓発に係る出張授業	通年 (17校、54クラス)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成14年より)	川崎市内小中学校への出張授業	授業内容（プログラム）省エネ&食育 ・燃料電池って何だろう（3校、5クラス） ・はじめよう！エコ・クッキング（14校、49クラス）
	地球に優しい「エコ・クッキング®」の開催【環境局減量推進課とコラボ】	11/8、9	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成18年より)		「はじめよう！エコ・クッキング」の出張授業に、川崎市減量推進課の講話実施。 ●1校3クラス。 ・夢ヶ崎小
	環境に配慮した食の取組	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成18年より)	キッチンランド川崎【東京ガス川崎ビル】	料理教室「東京ガスキッチンランド川崎」において、料理を通じて身近なエコな取り組みを指導し、ご家庭の環境意識の向上やCO2削減に貢献するもの。 ●環境省「体験の機会」認定事業 ○136教室開催参加人数1,555人
	事業所内（川崎ビル）の取組	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成26年より)	東京ガス川崎ビル	昼休み時間の職場内消灯、不使用場所の消灯の徹底（共用部人感センサー活用）、ゴミ分別の徹底など、「川崎ビル生活マニュアル（川崎ビル安全衛生環境委員会策定）」に基づき、川崎ビルに働く東京ガスグループ全員（約200名）が省エネ行動を実践。
7 東京電力パワーグリッド株式会社	・イベント参加 夏の環境教室	8月2日 3日	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	かわさきエコ暮らし未来館	・手回し発電機やおもちゃの発電機を使用した発電体験を実施 ・模型を用いて、尾瀬のスクリーンをバックに写真が撮れる「木道キッド」を展示 (東京電力は、尾瀬国立公園の約3割の土地を所有しており、長年にわたり自然保護活動に取り組んでいます)
	・イベント参加 多摩区エコフェスタ	8月5日	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	多摩区役所	・手回し発電機やおもちゃの発電機を使用した発電体験を実施 ・模型を用いて、尾瀬のスクリーンをバックに写真が撮れる「木道キッド」を展示 (東京電力は、尾瀬国立公園の約4割の土地を所有しており、長年にわたり自然保護活動に取り組んでいます)
	・イベント参加 脱炭素アクションみそのくち広場	11月12日	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	武蔵溝ノ口連絡通路	・手回し発電機やおもちゃの発電機を使用した発電体験を実施
	・イベント参加 川崎国際環境技術展	11月17日 18日	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	カルッツ川崎	・2020年度、2021年度はオンラインで参加 ・CNにつながる取組として、蓄電池LCMを紹介 ※LCMとは・・・ライフサイクルマネジメント
	・イベント参加 知ろう！学ぼう！かわさき企業市民交流Day	11月23日	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	川崎ルフロン	・手回し発電機やおもちゃの発電機を使用した発電体験を実施
	・事務所の環境対策	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	事務所建物 (市内5事業所)	・クール（ウォーム）ピズ（夏：6/1～9/30 冬：12/1～3/31） ・照明（LED化、間引き、昼休み消灯） ・空調温度適正運転等 ・ノー残業デー設定（毎週水曜日） ・ゴミの分別 ・節水
	・EVの普及促進	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	川崎支社	・EV100へ加盟 2030年までに業務車両のEV化100%を目標 (中間目標：2025年までに業務車両の50%EV化)

令和4年度 地球温暖化対策の取組実績

団体名	事業の名称	実施月日	新規継続区分	実施場所	事業概要
8 日本電気株式会社 玉川事業場	9号館スマートビル化推進	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成24年より）	玉川事業場	9号館を設備リニューアルに併せてスマートビル化構築実施。 導入した設備を継続運用。 ・高効率受電設備の更新 ・Low-Eガラス ・外壁遮熱塗料による断熱強化 ・太陽光発電の創エネルギー設備
	照明LED化	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	玉川事業場	事業場LED化 ・約39804灯の蛍光灯をLED化（累積）
	節電対策の推進	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	玉川事業場	①空調・熱源の省エネチューニング改善 ・空調機チューニング 温度・運転時間・間引き運転見直し OAC空調・VAV制御調整 ・冷凍機設定温度変更 ②チラー/ターボ冷凍機（熱源設備）運用改善 ・送水温度変更などによる運用最適化 ③ベース照明の省エネ ・照明間引き ④エレベータ運転台数削減
	高効率空調機への更新	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	玉川事業場	空調機を高効率空調機へ更新
	変電設備更新及び再編	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	玉川事業場	・54号館の変電設備更新（高効率トランス導入） ・40・50号館変電設備更新及び統合化
	省エネ節電啓発活動	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	玉川事業場	①クールビズ・ウォームビズ（通年） ②省エネ委員会開催（1回/年）による情報展開 ③省エネ月間イベント開催（パネル展示）
9 富士通株式会社	再生可能エネルギーによる電力供給	令和4年度中	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（令和3年より）	川崎工場全域 富士通クリニック	川崎工場と富士通クリニックに供給されている電力を再生可能エネルギー100%の電力切替え実施。
	省エネ型高圧トランスの導入	令和4年1月	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	川崎工場 本館 地下3階 電気室	本館の老朽化対策で実施する高圧トランス更新の際に、トップランナー変圧器を導入。
	オフィス照明LED化	令和4年1月	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成28年より）	川崎工場 本館 4階南側	オフィスの照明のLED化を推進。
	海洋プラスチックごみ問題への取組み	令和4年度中	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（令和元年より）	川崎工場	社内喫茶エリアでのプラスチック製品の使用廃止。 コンビニのレジ袋を撤廃。
	栗木山王山緑地保全活動	令和4年5月 令和4年11月	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成24年より）	栗木山王山特別緑地保全地区	川崎市が保有する栗木山王山特別緑地保全地区（麻生区）において、保全管理計画の策定から川崎市と協働で管理し、荒廃林の手入れ作業を実施。
	体験の機会の場（環境出前授業）	令和4年10月 工場見学 令和4年11月 カワイイ授業	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成25年より）	市内小学校	「環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律」に基づき、環境教育等に取り組む事業所として「環境教育等に係る体験の機会の場」に2013年から認定。 令和4年度新城小学校5年生113名
	カーボンチャレンジ等マカ	令和4年6月	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成21年より）	等々力緑地	川崎市、川崎市公園緑地協会、川崎フロンターレ、富士通川崎工場の4者が合同で二酸化炭素排出量を減らすための活動。 等々力競技場で行われる川崎フロンターレホームゲームにて、飲食売店で使用される容器にリユース食器を導入。 川崎市の環境イベント「SDGsランド」のブースでは、着なくなったTシャツをエコバックにアップサイクルすることで、廃棄によるCO2削減や保全活動をしている山から伐採した竹を使い工作物に触れることによる環境啓発を実施
	空調機更新による効率化	令和4年 10月、1月	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続	川崎工場 本館 4階、6階、クラブハウス	設置から約30年が経過する空調機の更新工事を実施することで機器効率の向上を図る。 ※未長分室の空調機更新については、令和5年度にて判断する。→R5に実施予定
	給湯生成方式の変更ガス→電気	令和4年9月	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続	川崎工場 本館 1階 厨房	厨房で使用する温水の生成方法を蒸気（ガス）から電気温水器に変更。
	かわさきプラスチック循環プロジェクト	令和4年12月より	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続	川崎工場	「使用済みペットボトルの水平リサイクル推進」プラスチックの資源循環に向けた取り組みの一環として、気候変動（脱炭素）、資源循環に向けた従業員の行動変容を促進するため、「かわさきプラスチック循環プロジェクト」に参画。 当社では従来より富士通グループ環境行動計画の一環として、気候変動（脱炭素）や資源循環に取り組んできたが、川崎工場から排出されるペットボトルの回収スキームを見直すことで、新たな化石由来原料を依存せずに何度もペットボトルとして循環できる水平リサイクルの仕組みを導入。

令和4年度 地球温暖化対策の取組実績

団体名	事業の名称	実施月日	新規継続区分	実施場所	事業概要
10	ベトリファインテクノロジー株式会社	ペットボトルリサイクル事業	平成20年～ <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成20年より）	当社構内	使用済みPETボトルを対象にしたケミカルリサイクルを用い、ボトルtoボトルを実現させることで、二酸化炭素濃度の上昇原因の一つとされる化石燃料消費と、それに伴う二酸化炭素排出の削減に寄与。 また、循環可能なPET樹脂を生み出すことで、プラスチックゴミの削減にも貢献。
11	ヤマト運輸株式会社	節電対策	通年 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	営業所	就業前、昼休み時間中のオフィス内の照明の消灯 使用していない会議室等、不要な照明の消灯 クールビズでは空調の室温を原則28度とすることで節電に努めた。
		CO2削減	通年 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	営業所	弊社の機密文書リサイクルサービスを利用。未開封処理を行うためシュレッダー処理とは違い、紙の繊維を寸断しないためCO2削減につなげた。
		CO2削減	通年 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続	営業所	日野EV車を計20台導入。排気ガス削減につなげた。（川崎区2台中原区1台 多摩区5台 麻生区1台 登戸区5台 高津区6台）
12	株式会社 横浜銀行	クールビズ ウォームビズの実施	クールビズ(5月～9月) ウォームビズ(12月～3月) <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成 年より）	本社	クールビズでは空調の室温を原則28度、ウォームビズでは22度以下とすることを継続し、節電に努める。
		川崎市地域エネルギー会社設立への協力	通年 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続（平成 年より）	本部・営業店	川崎市が計画している地域エネルギー会社設立について、金融機関パートナーとして参画を予定。
		取引先の脱炭素への取り組み支援	通年 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成 年より）	営業店	川崎市が発行している脱炭素ガイドブックについて、作成段階から当行グループで協力。 ガイドブックの取引先への配布による周知とともに、サステナブルファイナンスによる取引先支援。
13	株式会社 渡辺土木	グリーンカーテンの設置	6月～9月 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成31年より）	本社社屋	本社社屋南側にゴーヤを植え、社屋内への日照を阻害することによりエアコン設定温度上げ消費電力の低減化を行う。
		生ゴミの堆肥化	通年 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続（平成 年より）	本社	生ゴミ処理機を導入し、本社で発生する生ゴミを堆肥化し使用することにより処分に出す生ゴミを抑制している。
14	麻生区クールアース推進委員会	夏休み環境イベント「ソーラーエコハウスを作ろう」	8月11日 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成25年より）	麻生区役所	ソーラーエコハウスの工作から、太陽光発電と蓄電について学び、自然エネルギーについて考える小学生向けの夏休み環境イベントを開催した。
		おひさまと遊ぼう	9月16日 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成14年より）	麻生区役所（「あさお子育てフェスタ」に出展）	子育てフェスタに参加する親子に、ソーラークッカー、ソーラーカーなど、太陽光を動力とする器具を実演して、自然エネルギーについて説明する機会とした。
		麻生区民まつり	10月9日 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成15年より）	麻生区役所	ソーラークッカー等の展示、ソーラーおもちゃから、太陽光エネルギーを動力にすることについて体験してもらった機会とした。
		麻生区役所太陽光発電設備設置20周年記念イベント	10月29日 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成14年より）	麻生区役所	「気候危機 みんなが知れば必ず変わる！～地球を守ろう～」と題し、環境活動家谷口たかひさ氏を招き講演会を行った。
		麻生区役所太陽光発電設備設置20周年記念イベント	2月5日 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成14年より）	麻生区役所	「気候危機の中 2030年に向けてできること」と題し、環境エネルギー政策研究所所長の飯田哲也氏の基調講演と、地域で環境活動を行う4団体と川崎市環境局脱炭素戦略推進室よりパネリストを招き、パネルディスカッションを行った。
		出前授業	申し込みなし <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成16年より）	麻生区内の保育園、小学校等	区内保育園、小学校からの申し込みがなかった。
		出前環境講座	10月15日 1月8日 2月18日 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成30年より）	10/15：麻生小学校（寺子屋あさお） 1/8：多摩市永山公民館 2/18：東百合丘町会会館	寺子屋あさおでは「ペットボトルで風力発電を作ろう！」と題して、パワーポイントでの地球温暖化学習と工作を行った。 多摩市と東百合丘町会では市民向けに環境講座を行った。
15	IDEA NPO法人アジア起業家村推進機構	これからのIDEA NPO法人アジア起業家村推進機構会員のSDGs推進コラボレーション事業	11月17日～18日 <input checked="" type="checkbox"/> 新規	カルッツ川崎	第15回川崎国際環境技術展（11月17日～18日）川崎ものづくりプラドーナにてこれからのIDEA会員SDGsコラボ企画事業を展示

令和4年度 地球温暖化対策の取組実績

団体名	事業の名称	実施月日	新規継続区分	実施場所	事業概要
16	「エコシティたかつ」推進事業	令和4年度	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成21年より）	高津区内各所	区内市立小学校等で学校ビオトープを活用した環境学習支援、流域治水カーテンの整備推進、健全な森づくりを体験する「たかつ水と緑の探検隊」（下作延小学校が参加）などを実施した。
	「だちはな農のあるまちづくり」推進事業	令和4年度	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成21年より）	橋地区を中心とした高津区内	「高津さんの市」においてエコバックの持参を周知した。また、令和2年度からチラシやパンフレット等を配布する際にレジ袋の使用を廃止しており、今年度も同様の対応とした。
	花と緑のたかつ推進事業	令和4年度	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成24年より）	高津区役所周辺他	区内各所にコンテナガーデンや花壇を設置し、その維持・管理を区民と協働で行い、花と緑のまちづくりを推進した。
17	自然エネルギー設備の設置に係る相談助言事業	随時	<input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成28年より）	川崎市内	①ソーラーシェアリング可能性調査 農林水産省の補助金を調査した。取り組みたい農業者を探すことができていない。 ②保育施設への設置の調査 太陽光発電設置の意向調査を、川崎市内の民間保育園の一部で行った。設置に関心がある保育所は今のところ見つかっていない。 ③高齢者施設への設置の調査 高齢者施設1カ所に、太陽光発電設置の提案を行った。趣旨には賛同するが、現状では考えていないとの回答だった。
	おひさま1号機、2号機対応	随時	<input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成20年より）	①川崎市国際交流センター ②川崎フロンターレ麻生クラブハウス	1号機の発電量測定を行い正常に稼働していることを確認した。2号機太陽熱温水器の集熱量測定に不具合があったが、測定機能担当会社に修理依頼し測定再開した。
	各種イベントにおける普及啓発事業	①9月25日 ②8月26日	<input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成20年より）	川崎市内	①「おひさまフェス×星空上映会inかわさき」に参加し、災害時にも役立つソーラーエネルギーを紹介・実演した。 ②ソーラーパネルリサイクル講座に参加した。日本でも取り組む会社が増えてきていること、海外の取組状況などの知見を得た。
	情報発信事業	2月	<input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成20年より）	川崎市内	プロジェクトレターNo.20を作成し、会員及びこれまでの自然エネルギー事業への協力者に送付した。当プロジェクトのホームページに掲載し情報発信を行った。
	行政や社会への提案・提言事業	通年	<input checked="" type="checkbox"/> 継続（令和2年より）		①「川崎市地球温暖化対策推進条例の改正に向けた考え方（案）」について意見交換し、各自パブリックコメントに参加した。 ②「川崎市脱炭素宣言」に登録した。
	関連団体との連携した活動	通年	<input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成28年より）	川崎市内、他	再生可能エネルギー普及の目的を共有する、川崎地域エネルギー市民協議会、NPO法人市民電力連絡会に参加し、情報の共有を図りながら活動を推進した。CCかわさきエコ会議理事会に参加し、参加団体と情報交換を行った。
	個別事業の支援	通年	<input checked="" type="checkbox"/> 継続（令和元年より）	川崎市内	川崎市の公共施設の屋根貸しによる太陽光発電設置事業を推進している「川崎地域エネルギー株式会社」と連携し、麻生市民館・図書館に太陽光発電を設置することができた。見学会など普及啓発活動を実施しており、活動に協力した。

令和4年度 地球温暖化対策の取組実績

団体名	事業の名称	実施月日	新規継続区分	実施場所	事業概要
18 グリーンコンシューマー普及会議	エコショッピング・クッキングの推進	7月27日、12月17日	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続（平成12年より）	高津市民館	普及啓発活動(地産地消、食品ロス、旬の講義)を企画「お焼き作り」「お米を食べて脱炭素！その理由も学ぼう」
	学校へへの出前授業	6月6日、14日、24日、29日、9月27日、10月18日、21日、24日、27日、11月2日、17日、18日、12月14日、12月20日、	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続（平成15年より）	戸手小、東高津中、日吉小、東高津中長沢小、栗木台小、西梶が谷小、平間小、栗丸子小、古市場小、中原中学、新作小、四谷小、稲田小、	「食べ物をめぐる旅」「エコ暮らしすごろくづくり」「SDGsと衣食住」「SDGsと食品ロスと水」「もったいない鬼ごっこ」「クイズで学ぶSDGsと食品ロスと水」
	子ども文化センターへへの出前講座	5月5日、	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続（平成 年より）	高津子文、	「国産材でプレート作り+国産材と環境の話」
	プレーメン商店街との協働、1店1エコ運動の推進、夏休み自由研究、消費生活展、講演会開催、地域グループとの協同、環境フォーラム等、各種イベントに参画して啓蒙活動を	6月9日、7月13日、15日、25日、8月5日、6日、10月2日、18日、29日	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続（平成14年より）	幸区市民館、多摩市民館、プレーメン商店街、幸区役所東小倉小、てくのかわさき、溝の口JR改札口前ロード、長沢小、	「食品ロスセミナー」「国産材でプレート作り」「脱炭素の話と工作」「栗小倉小のSDGs/パートナー協力」★「東生田の町の魅力、地域をかんがえるをテーマに地域の人にインタビューする子どもたちへのインタビュー、★「SDGsと衣食住」、★「SDGsと衣食住」のパネル展示、★プレーメン通り商店街「フライマルクト」フードドライブと出展。★長沢小の生徒の発表を聞きアドバイザー「食品ロスと」海洋プラスチック」について ★幸区エコツアー
	学校給食用の牛乳パックのリサイクル推進	6月20日、23日、7月7日、12月17日、1月21日、3月13日、	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続（令和2年より）	下河原小、西御幸小、平間小、小田小、東橋中、南河原小、	以前はリサイクルされていた牛乳パックが現在の焼却の処理から、再びリサイクルの輪に戻し、3Rと脱炭素社会の取り組みを推奨する。実践する学校の取り組みも出てきたので、広げていきたい。
	DVDでエシカル消費等を学ぶティータイム	4月12日、	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続（令和2年より）	高津市民館、宮前市民館	エシカル消費(地球環境や人、社会、地域に配慮した消費行動)の普及活動を、1時間ほど映像を見ながら楽しく学ぶ試みをする。「バイオ燃料」「希望の給食：有機野菜を使い、美味しく安心安全な学校給食の実践のドキュメンタリで、地域の農業ともつながり、地域の活性化へも発展。上映後、グループに分かれての活発な意見交換もできた。」
	学ぶ機会、その他	4月23日、10月17日から、1月21日、3月26日、	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続（令和4年より）	ZOOM、平間小、てくのかわさき、宮前市民館、	★「ザ トゥルーコスト」ファストファッション真の代償上映会に参加。★大正大学覚醒研修参加：「現代におけるエシカル消費と地域の関係」について。★「平間SDGsフェス」に空職の牛乳パックについて展示とアンケート調査。★「都市を耕すエディブルシティ」の上映紹介 ★川崎市の公害についての映画を見て現在の大気の状態を学ぶ機会の紹介。★「夢見る小学校」の上映。
19 川崎市地域女性連絡協議会	ダンボールコンポストの利用推進	通年	<input type="checkbox"/> 新規 ■ 継続（平成23年より）	教育文化会館内川崎市地域女性連絡協議会事務所	生ごみ堆肥化「ダンボールコンポスト」によりゴミの減量をすすめる。コンポストに必要な基材、段ボール箱などの取り扱いをしている。
	廃食油回収と石けん利用推進	通年	<input type="checkbox"/> 新規 ■ 継続（平成11年より）	同上	・川崎市民石けんプラントが製造している安心安全な「きなりっこ」の普及啓発 ・回収した廃食油で石けん作り 12月6日
	フードドライブで食品ロス削減	10月10日、24日 2回実施	■ 継続（令和4年より）	同上	家庭に眠っている食品を集め、減量推進課からフードバンクへ寄付
	環境問題、SDGs研修会を実施	川崎市関係部署より防災の研修 2月7日	■ 継続（平成11年より）	同上	川崎市の関係部署、または専門家を招いて研修

令和4年度 地球温暖化対策の取組実績

	団体名	事業の名称	実施月日	新規継続区分	実施場所	事業概要
20	(一社) 神奈川県トラック協会	ドライバー向けエコドライブ講習会	年6回開催	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成12年より)	川崎マリエン等 計5箇所	受講者計95名の効果測定を実施したところ、平均で10.8%の燃費改善効果があった。 (平成12年度より延べ受講者4,958名受講)
		エコドライブリーダー養成講座	年2回開催	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成24年より)	川崎マリエン等 計2箇所	社内のエコドライブ活動を推進する人材の育成を図るため、かながわエコドライブ推進協議会と共催した。
		日常点検講習	年4回開催	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成27年より)	県内4カ所(川崎市外)	エコドライブに必要な日常行う車両の維持管理方法並びに環境に配慮した車両の使用方法を習得するため開催した。
		エコドライブ診断器(セーフティナビ)の貸出し	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		エコドライブ診断器(セーフティナビ)を会員事業者に貸出し、広範的にエコドライブの意識を浸透させた。
		グリーン経営認証制度促進助成事業	6月~2月	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		グリーン経営認証制度の普及拡大を図るため、新規認証取得事業者・更新事業者を対象に係る費用の一部を助成した。
		車内ゴミのポイ捨て防止啓発の推進	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		運転者のモラルの向上並びにグリーン経営認証取得に係る評価項目の従業員に対する環境教育を推進するため、車内ゴミのポイ捨て防止に係るチラシを各種研修会等にて会員事業者に配布した。
		キー抜きロープの普及促進	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		アイドリング・ストップを推進するため、会員事業者に配布するとともに、当協会の環境への取組を広範的にPRするため、啓発物として配布した。
		アイドリングストップ支援機器等の助成	6月~2月	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		アイドリング・ストップの推進に有効な蓄熱マット・蓄冷クーラー等の普及拡大を図るため、会員事業者に対して導入費用の一部を助成した。
		タイヤゲージの普及促進	通年	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続		燃料消費量及びCO2排出量の削減に繋がる車両の適正な整備を推進するため、タイヤの空気圧を測定するタイヤゲージをモニター形式により会員事業者に配布した。
21	(一社) 川崎建設業協会	(一社) 川崎建設業協会	10月	継続 令和2年	(一社) 川崎建設業協会 事務局	脱炭素戦略「かわさきカーボンゼロチャレンジ2050」賛同
		(一社) 川崎建設業協会	4月	継続 令和3年	川崎建設会館	全館照明LED化
22	川崎工業振興倶楽部	会員企業への広報活動	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成23年より)	川崎工業振興倶楽部 ホームページ	会員企業にとって「有効で有意義な情報」を入手の都度、倶楽部のホームページに掲載し、情報提供による広報啓蒙活動を実施する。Ex「ccかわさきエコちゃんずメールマガジン」「スマートライフスタイル大賞受賞会員の紹介」等
		事務所内エコ活動	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成24年より)	川崎工業振興倶楽部 事務室	倶楽部事務所は「川崎市産業振興会館」にあり事務局長のみ勤務している。省エネに関しては同会館の方針に従い「照明・空調・PC」の節電を実践する。省資源に関しては事務用品類の購入の際「エコ製品」を対象に選定する。
		「かわさきカーボンゼロチャレンジ2050」	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (令和2年より)	川崎工業振興倶楽部 事務室	「かわさきカーボンゼロチャレンジ2050」活動に賛同を継続し、事務室内にロゴマークを掲示し事務室の省エネを推進する。

令和4年度 地球温暖化対策の取組実績

団体名	事業の名称	実施月日	新規継続区分	実施場所	事業概要
23 川崎商工会議所	夏の省エネルギー対策クールビズ	5月1日～10月31日	□ 新規 ■ 継続	所内	所内冷房の設定温度を上げ、職員はノーネクタイ・ノー上着の軽装で執務。
	夏の省エネルギー対策事務所内	通年	□ 新規 ■ 継続	所内 他	・始業前・昼休み中に事務所内の照明消灯 ・エレベーターホール、トイレ、事務所内の一部にLED照明以上を通年で行った。
	当会館「川崎フロンティアビル」はCASBBSクラス認証 *当会館は鹿島建設と当所が所有	平成24年7月竣工	□ 新規 ■ 継続（平成24年より）	川崎フロンティアビル	「川崎フロンティアビル」はCASBEE（建築環境総合性能評価システム）で、最高評価のSクラス認証を受けている。
	川崎国際環境技術展 実行委員会 副実行委員長は当所会頭 *同技術展 企画部会は当所企画広報部対応	平成18年度より	□ 新規 ■ 継続（第1回 同実行委員会より）	第1～10回「とどろきアリーナ」 第11回～「カルッツかわさき」 第13回～オンライン開催 第15回「カルッツかわさき」	同展示会は、川崎市が有する優れた環境技術や先進的な取組を広く情報発信するとともに、販路の開拓や拡大につながるビジネスマッチングの創出を目的に開催。 ・当所はゴールドスポンサー（20万円）として協賛。 ・出展者募集・来場者案内について、当所会報誌やメールマガジンにて周知を行った。
	川崎温暖化対策推進会議（CC川崎エコ会議） 理事は当所副会頭 *同推進会議 運営委員会は当所企画広報部が対応	平成20年度より	□ 新規 ■ 継続（平成20年より）	川崎市	CCかわさき（カーボン・チャレンジ川崎エコ戦略）を推進するため、市民や事業者など川崎市の多様な主体が一丸となって取組む推進ネットワーク。
	「COOL CHOISE」セミナー開催への協力	平成29年度より	□ 新規 ■ 継続（平成29年より）		昨年度は協力依頼が無かった為、行っていない。
	「COOL CHOISE」賛同	平成29年度より	□ 新規 ■ 継続（平成29年より）	川崎フロンティアビル	地球温暖化対策のための国民運動。2030年に向けて、省エネ・炭素型の製品・サービス・行動など、温暖化対策に資する快適な暮らしに繋がるあらゆる「賢い選択」をしていく。
	低CO2川崎ブランド等推進協議会 委員は当所副会頭 *同協議会 運営推進部会は当所企画広報部が対応	平成28年度より	□ 新規 ■ 継続（平成29年より）	川崎市	同協議会では、ライフサイクル全体でCO2削減に貢献する川崎発の製品・技術、サービスを「低CO2川崎ブランド」として認定する。
	当所機関誌による低CO2川崎ブランド募集・結果周知	平成29年度より	□ 新規 ■ 継続（平成29年より）	当所機関誌	標記ブランドの募集・結果について当所会員向け機関誌内にてPR。優れた環境技術の周知、発掘に寄与する。（市内約6000会員、官公庁、全国主要都市商工会議所等に送付）
	ノー残業デイの実施	通年	□ 新規 ■ 継続	所内	毎週水曜日をノー残業デイとし、原則18時までに退所する。
中小企業のSDGs取組支援	通年	□ 新規 ■ 継続	所内	・当所主催のSDGsに関するセミナーを開催。SDGsの取り組み事例を広く紹介するとともに、「かわさきSDGsパートナー」制度への登録促進を行う。 ・「川崎市SDGsプラットフォーム」のコアメンバーとして当所中小企業振興部部長が参画。	
24 一般社団法人日本フランチャイズチェーン協会	低炭素社会実現に向けた気候変動キャンペーン「Fun to Share」への参加	平成26年4月より継続して実施	□ 新規 ■ 継続（平成26年より）	会員企業の店舗	環境省「Fun to Share」に参加し低炭素社会の実現のため、LED照明等の高効率照明、インバータ式冷凍・冷蔵、空調機器等の省エネ機器、太陽光発電装置等の自然エネルギー等の導入を進めることにより省エネルギー対策に取組んでいる。
	クールビズの取組み	一律の実施期間の設定を行わず、個々の事情に応じて実施	□ 新規 ■ 継続（平成25年より）	会員企業の店舗	地球温暖化防止及び節電対策に貢献するため、会員企業に対してクールビズの取組みを呼び掛けた。会員企業では”店内を適正温度に設定”、”ユニフォームの軽装化”等、各企業がそれぞれの取組みを行っている。
	脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動・官民連携協議会（環境省）への参加	—	■ 新規（令和4年より） □ 継続	—	2050年カーボンニュートラル及び2030年度削減目標の実現に向けて、官民が連携し国民・消費者の新しい暮らしを後押しする。

令和4年度 地球温暖化対策の取組実績

	団体名	事業の名称	実施月日	新規継続区分	実施場所	事業概要
25	学校法人聖マリアンナ医科大学	照明LED化	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成28年より)	難治研、教育棟	老朽化した照明をLEDタイプへ更新した。
		蒸気のドレン回収率管理	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成23年より)	キャンパス全体	機器点検の他、発生蒸気量と還水のドレン回収率を管理することで、蒸気、ドレン還水の漏れを判断し、漏れ箇所を修理することでエネルギーロスの削減を図った。
		リサイクル廃棄物容器の使用	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続(令和3年より)	病院本館、別館	病院から排出する感染性廃棄物容器を使い捨て容器(焼却処分)からリサイクル容器に切替え、CO2の発生抑制を図った。
26	学校法人 日本女子大学	事務局クールビズ	5月～10月	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成24年より)	西生田キャンパス	業務効率の向上と省エネルギーの徹底を図るため、実施を行う。
27	公益財団法人川崎市公園緑地協会	節電対策		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年より)	公園緑地協会事務所	建物内の事務所以外の照明を消灯し、各施設及び事業所も節電を図った。事務所の一部に緑のカーテン(ゴーヤの植栽30m×4m)を設置して室内温度の低減を図った。
		地球温暖化対策		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年より)		公園緑地協会の事業の一環として、緑化推進事業及び普及啓発事業として屋上・壁面緑化等の推進を図った。また公園内花壇への草花植付の拡大及び公園緑地での花と緑の講習会の実施等を行い、緑化の推進を図った。「いまこそ!みどりのカーテン大作戦(ゴーヤ)」として緑の活動団体等を対象にゴーヤの苗を提供した。
		思い出記念樹「樹繁(きすな)」		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年より)		市民150万本植樹運動として思い出記念樹「樹繁(きすな)」の配布を行い緑の普及啓発を図った。
		「カーボン・チャレンジ等々力」		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年より)	等々力陸上競技場	CO2削減として、Jリーグ試合開催時に川崎フロンターレ・富士通川崎工場・川崎市・当公園緑地協会の4団体協同でリユース食器を活用する「カーボン・チャレンジ等々力」事業を行った。
28	川崎市地球温暖化防止活動推進センター	年間を通しての環境に関する展示及び講座の開催	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成23年より)	CCかわさき交流コーナー他	脱炭素等も意識し、3カ月に一度テーマ(ファッション/適応策/防災/減災・脱炭素・住まい/エネルギー)を変えた普及啓発展示と関連講座を実施した。実施講座に関しては、今年度もコロナ禍での開催を考慮し、オンラインでの開催も実施した。また、今年度も小学生向け講座「夏休み自由研究週間～子ども環境ワークショップ～」を開催した。例年実施している「春休みエコ体験教室」については、当センターの所在する高津市民館が大規模回収工事に伴う閉館(1月～2月)に伴い中止とした。
		第10回かわさき環境フォーラム開催	12月17日	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成25年より)	高津市民館	令和4年に10年目を迎える年に一度の環境イベントとして、市民団体・事業者・行政各部署の協力を得て、引き続き開催した。
		脱炭素に向けた普及啓発イベントへの参加	通年	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ※各イベントによる	JR溝口駅他	「脱炭素アクションみぞのくち広場」をはじめ、今年度も普及啓発イベントに積極的に参加した。また、各区や地球温暖化防止活動推進員と連携し、「脱炭素キャンペーン」も展開した。
		広報紙やSNSを利用した普及啓発活動	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成23年より)	川崎市地球温暖化防止活動推進センター	広報紙(エコちゃんず通信 年4回発行)・メルマガ・instagram等を通して、地球温暖化等、環境や脱炭素に向けた情報発信を実施した。情報発信については、若年層や主婦層等の発信源となりえるグループ等についても検討した。
		学校向け環境出前授業の実施	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成23年より)	市内小学校等	川崎市地球温暖化防止活動推進員プロジェクトが中心となり、SDGsや脱炭素も踏まえ、地球温暖化や自然エネルギー、3R等についての出前授業を実施した。また、令和4年度からは、プログラムの構成も再考し、各学校担当者がより理解しやすい内容であることを考慮した。令和4年度実績：73校 8,182名(延べ)
		小学生向け環境教材の制作	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続(令和2年より)	市内小学校等	必要に応じ適宜改版等を実施。併せて、児童が使用する際のサポート資料として教師用マニュアルも作成し活用促進を図った。また、Chromeブック対応も含め、ネット上での活用促進を図った。
		脱炭素に向けた中小企業支援「脱炭素経営 炭素の見える化事業」	通年	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続	各企業等	川崎市内の中小企業の脱炭素経営を推進するため「炭素(CO2排出量)の見える化」事業の推進。応募した事業者には「脱炭素対策の専門家」が訪問し、炭素排出量の把握と削減対策をアドバイスを行う事業を展開した。
		“親子エコ体験クラブ”の開催	通年	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続	市内親子	小学生以上の子供を含む親子を対象とした環境を学べる連続講座“親子エコ体験クラブ”を発足。令和4年度は年4回開催、9組の親子が参加した。また、スタッフに子育て世代の川崎市地球温暖化防止活動推進員にも加わっていただき、当センターと推進員の協働事業としての実績につながった。
		うちエコ診断	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成23年より)	高津区役所他	令和4年度は6件実施した。

令和4年度 地球温暖化対策の取組実績

団体名	事業の名称	実施月日	新規継続区分	実施場所	事業概要
29 独立行政法人環境再生保全機構	環境配慮のための実行計画の策定と実施	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成18年より）	執務室内	環境配慮のための実行計画として、以下のIからIXの区分に該当する項目を定め、業務活動がエネルギー及び資源の有効利用を図るものとなるよう、役職員及び各部署で積極的に取り組んだ。イベント等については、コロナ禍の影響からオンラインでの参加となり、デジタルコンテンツ（動画等）の制作が増えたが、制作過程において環境配慮に留意するよう職員だけに留まらず請負先にも意識の改革を促すよう尽力した。 I エネルギー（電気使用量の削減） II 省資源（用紙類の使用量削減） III 節水 IV 廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理 V イベント等の実施における環境配慮 VI ワークライフバランスへの配慮 VII グリーン購入の推進 VIII 温室効果ガス排出量の把握 IX 役職員に対する啓発及び社会貢献
	職員共用傘・エコバッグの利活用	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	職場内等	廃棄物削減、海洋プラスチック問題、リサイクルの推進の観点から、職員の忘れ傘を共有傘として活用することで新たなビニール傘購入を抑制する。また、職員からエコバッグ等を拠出（各種・サイズ）してもらい、近所のお店での買い物やコンビニでの昼食の弁当の買い出し等に利活用する。お店からはプラスチックバッグ等は受け取らないようにした。
	古着等のリサイクル	12月23日	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	職場内等	職員の不要になった衣類や服飾雑貨、古本・CD、子供用おもちゃ等を持ち寄り、「ERCAリサイクル市」を開催して必要な職員へ譲る取組を行った。また、リサイクル市で残った衣類等を「古着deワクチン」へ寄付を行った。
	Cool Choiceの励行・啓発	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	職場内等	新しい生活様式、新たな業務環境を踏まえ、職員の環境における新たなエコスタイルを模索する。従来の期間を定めたクールビズ、ウォームビズの励行から、服装や冷暖房のみに限らず役職員が自ら判断し実践するCool Choiceの励行を行った。
	2022夏休み自由研究週間「子ども環境ワークショップ」 出展	7月30日	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	オンライン・高津市民館	「子ども環境ワークショップ」と銘打って、子供たちの夏休みの自由研究の参考になる楽しみながら学ぶワークショップを企画した。テーマは「プラスチック」、その素材特性や環境に及ぼす影響などについて、楽しく学ぶ教室を展開した。みんなでペットボトルのキャップを使って「エコキャップアート」作品を作った。
	&EARTH スマートライフプロジェクト	10月15日	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続（平成 年より）	ラゾーナ川崎	SDGsやカーボンニュートラルについての体験型ワークショップを中心に、市民に啓発を促す催事に参加し、子供向けワークショップを開催し、環境活動及び地域貢献を図った。「海洋プラスチック」などの環境問題について、みんなで何が出来るかを考えた。2030年のSDGsのゴールに向けて「環境未来日記」を書いて、いかに未来を実現するか、これからの取組を明らかにした。
	第15回川崎国際環境技術展 出展	11月17日、18日	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	現地（カルッツ川崎）・オンライン開催	出展企業等にも役に立つ企画を取り入れると共に、当機構の取組内容や活動（再生・保全）についても工夫を凝らし一過性で終わらないよう展開した。3年振りのリアル催事開催となった。「プラスチック」をテーマに、環境研究の成果をパネル等で分かりやすく展開した。当方に関心のある企業5社とマッチングを行い「環境」について、次につながる情報交換を行った。
	第10回かわさき環境フォーラム	12月17日	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続（平成 年より）	高津市民館	川崎市地球温暖化防止活動推進センターが開催する催事に出席し、環境問題に親子で触れることのできるワークショップを開催、環境問題の啓発及び地域貢献を図った。（一年ぶり）エコ素材などを使って「脱プラ」をテーマにクリスマスオーナメントを参加者と一緒に行った。
30 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構	グリーン調達に関する取り組み	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成13年より）	NEDO本部・支部	NEDOは、製品やサービスの購入に際し、できる限り環境への負荷の少ない物品等を優先して選ぶグリーン調達を進めています。また、グリーン調達を推進するため、「環境物品等の調達の推進を図るための方針」を毎年策定し公表しています。
	執務室の省エネルギー	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成23年より）	オフィス執務室内	・昼休み時間の全消灯 ・一斉退勤日の励行 ・照明機器のLED照明への切り替え
	空調利用の適正化、クールビズの推進	毎年5月～9月	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成23年より）	オフィス執務室内	NEDO全体で空調利用の適正化およびクールビズ（5～9月）の励行に努めています。執務室内の室温について節電に努め、夏季はノーネクタイ、ノージャケット等の軽装を呼びかけています。また、NEDOの役職員のみならず来構者の方々へもご案内し、協力を呼び掛けています。
	クラウド・コンピューティングの導入	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成23年より）	オフィス執務室内	2010年度にクラウド・コンピューティングを導入し、機構内に設置していた専用のサーバー室を廃止するとともに、各職員のデスクトップPCをシンクライアントPCに置き換え、消費電力を大幅に削減しました。さらに、2015年度の情報基盤サービスの切り替えにより、ネットワーク機器、複合機の台数を削減し、OA系の電力量を約4割削減しました。
	紙の使用量削減	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成23年より）	オフィス執務室内	使用量の削減を目指して右記の事項を実施しています。2022年度は2013年度（実施計画における基準年度）比で紙の使用量を52%削減しました（重量比）。 ・ペーパーレスによる会議・打ち合わせの徹底（ペーパーレス会議システム、ノートPCの活用等） ・両面印刷、両面コピー、複数ページ印刷の徹底 ・作成する資料の簡素化・電子化の徹底 ・電子決裁システムの導入

令和4年度 地球温暖化対策の取組実績

	団体名	事業の名称	実施月日	新規継続区分	実施場所	事業概要
31	国立研究開発法人 農研機構・生研支 援センター	「クールビズ」の実施	5月1日～9月30 日	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成 年より）	センター内	<ul style="list-style-type: none"> ・軽装（ノーネクタイ、ノー上着）での執務 ・居室等の冷房温度の緩和
		省エネルギー対策	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成 年より）	センター内	<ul style="list-style-type: none"> ・昼休み中、使用していない居室、会議室等の照明の消灯 ・コピー機、プリンタの共有 ・夏期における勤務時間外の冷房使用取り止め ・日中、窓際の照明の消灯（新規）